

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ケスイバ・デポル		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 10日	～	令和7年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日	～	令和7年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができています。	お子様の状況についてお迎え時や保護者会、イベント、定期的なモニタリングを通して情報共有を行っている。実際にお子様と一緒に活動に参加する機会や、活動の様子を見ていただく機会を設けている。	保護者参加型のイベントを企画し、保護者同士の交流の機会を設けたり実際にお子様の様子を見ていただきながら共有を図っていく。
2	活動プログラムを固定化しないように工夫している。活動プログラムの立案をチームで行っている。	その日の人数、利用児童等考慮し、実態に合った活動の提供や活動の幅が広がるように計画を立てている。月の活動予定に関して職員全員で話し合う場を設け、担当決めを行って活動準備を進めている。	子供の興味関心に沿った活動の提供や主体性を大切にしながら豊富な経験や学びに繋がれるようにする。様々な活動や経験を通して自信に繋げ自己肯定感を高めていけるように支援を行っていく。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	職員全員で活動決めを行い、早い段階で予定を立て保護者に周知することが出来ている。また、日々の活動の様子をLINE VOOMやインスタグラムを活用して発信している。	新しい活動を取り入れながら子供の興味関心を広げられるように職員間で話し合いを行っていく。動画を取り入れたり、活動の様子がより伝わりやすいように工夫していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	今年事業所が移転し、2階で支援を行っている為、室内の様子を見たことがない保護者様が多い状況である。	面談時や室内の様子を実際に見ていただく機会を設け、説明を行っていく必要がある。
2	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	定期的に非常災害の発生に備え活動の中で訓練を行っているが、「分からない」の回答が多くあった。	避難訓練の内容や児童の様子について保護者にも説明を行っていく。事業所移転後、まだ実施出来ない状況の為再度避難場所や方法について周知する。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	地域のイベントに参加する機会はあるが、その中で地域の子供たちとの交流は図れていない現状がある。	地域との交流を図れるイベントの企画を行ったり、地域のイベントに参加する機会を増やすことで交流を図っていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ケスイバ・デボル

公表日 令和7年2月28日

利用児童数 36 (兄弟児を含む)

回収数 31

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	2	1	3	・屋内外の取り組み、イベントも多く満足。 ・移転したばかりでわからない。 ・写真で見ましたが、2階は広そうでした。	面談や契約時、事業所開放型のイベント（活動）を通して施設の説明を行います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	2	1	3	・もう少し人数が欲しいです。 ・行き届いた配慮感謝です。 ・職員の質は高いと思うが少なく感じる。	人員配置基準を満たして運営しております。職員間で連携を図りながら支援を行ってまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	5	1	14	・移転した建物の中をまだ見たことがないです。 ・施設が変わったばかりで、回答できませんでした。 ・場所が変わってから中がわからない。	面談や契約時、事業所開放型のイベント（活動）を通して施設の説明を行います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	13	2	0	16	移転した建物の中をまだ見たことがないです。	引き続き、お子様が心地よく安心して過ごせるように環境設定を行ってまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	3	1	0	・子どものことをしっかり見てくれている。 ・学校でのことや事業所のことを細かく寄り添った形で教えていただく事が多くあります。	事業所やご家庭、学校等連携を図りながら統一した支援を行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	1	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	1	0	1	定期的な面談をしていただいています。	お迎え時やモニタリング等を通してお子様の様子を共有し、個別支援計画書の作成を行ってまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	0	0	1	いろいろな活動や施設外活動の体験も多く、子供が行くのを楽しみにしています。	屋内外、幅広い活動を通して子供たちが楽しみを持ちながら活動に参加出来るように工夫してまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	18	1	4	8	積極的に交流があると思います。	地域のイベント等にも参加しながら、交流が図れる環境作りを行ってまいります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	2	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	2	0	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29	1	0	1	知り合いの先生が親身になってお話しして下さり、とてもありがたいです。	引き続き、保護者迎え時や連絡ツールを使ってお子様の様子について共有を図ってまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	1	0	2		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	2	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	26	3	0	2	・保護者会やスポーツ大会(運動会)などで交流できていると思います。 ・もっとあってもいいかなと思う。	今まで以上に保護者会やイベント等を通して交流出来る機会を作っています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	2	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	2	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	2	0	0		
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	4	1	9	室内で周りを見ずに走り回っているのを見ると危ないと感じる事はある。
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	4	0	10	あるが少ない。	定期的に災害時に備えた訓練を実施し、防災意識の向上に繋げていきます。
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	3	0	3		
26		事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	2	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	1	1	0	・安心感を持っています。 ・スポット的な利用なので、最初は不安がる。	お子様の不安を軽減出来るように1日の流れや活動について丁寧な説明を行い、お友達と関わるきっかけを作りながら安心して過ごせるようにサポートしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	3	0	0	(上の子)少し前から学校で気持ちが崩れてしまう事が続き、疲れている様子です。学校の友達との遊びを優先したい時があるようです。	お子様の状態について保護者様と共有を図り、無理なく通所出来るようにしていきます。日頃から困りごと等ないか気持ちの傾聴を行い、安心して過ごせる環境を整えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	2	0	1	子どもたち楽しんでもらえるように色々な活動を考えさせていただいたり、なかなか選んで行かない外出活動もよくあり、たくさんの経験をさせてもらっていて感謝しています。また、先生方が子どもたちとよく遊んでくださっている印象です。	お子様が楽しみを持ちながら通所し、様々な活動(経験)を重ねることで自己肯定感を高め、自信に繋げていけるように引き続き支援していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ケスイバ・デポル		公表日		令和7年 2月 28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	必要物品の調整を行い、活動場面や機能訓練スペースを確保出来るように考慮している。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1日の職員配置を適切に保つために、職員の休みが被らないように考慮している。	事前に児童の情報や、職員の配置について確認を行い、怪我やトラブルを未然に防げるようにする。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	事業所移転に伴って、児童に分かりやすく環境を整え通所後の流れや過ごし方の確認を行っている。	視覚情報を用いて分かりやすく構造化を行っていく。階段昇降を安全に行えるように対応方法や対策の検討を行う。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	毎日清掃を行い、事業所を清潔に保っている。活動や自由時間を過ごす際に必要に応じたスペースの確保を行っている。	職員の立ち位置を工夫することで児童が過ごすスペースを広く確保し、安全に心地よく過ごせる環境を整えていく。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	必要時には児童が落ち着けるスペースの確保、環境を整備している。	周囲の状況や児童の様子を考え、全体の安全を確保しながら対応出来るようにする。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	職員全体での話し合いを毎朝設け、情報共有、伝達の場として利用している。	児童の様子やお迎え時に保護者から得た情報等職員間で共有し、統一した支援が行えるようにしていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	保護者との連絡ツールを利用し、より多くの回答を頂き改善が行えるよう声掛けやフォームの利用等を行っている。	今回得た回答を踏まえて業務改善に繋げていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	朝礼時に職員間で認識の統一が出来るように話し合いの場を設け、意見交換を行っている。	意見交換を行いやすいような雰囲気作りを行い、その中で1人1人の意見を大事にしながら、業務改善に繋げていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	外部評価が行えていない状況である。	今後、外部評価を行っていただき、業務改善に繋がれるようにする。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	定期的な研修会の開催を行い、情報共有を行うようにしている。	スケジュールの調整を行いながら、全員が研修を受講出来るようにしていく。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	各関係機関と連携を図り、職員間で児童の様子や課題について共通理解しながら、支援プログラムの作成を行っている。	引き続き児童情報や支援方法の確認を行いながら作成を進めていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	保護者お迎え時や面談を通して保護者と情報共有を図り、ニーズや課題を明確にし放課後等デイサービス計画の作成を行っている。	お迎え時や面談を通して共有を図り、また職員全員で意見交換をしながら計画書の作成を進めていく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	個々に対し統一した支援を行うことが出来るよう日々支援の方向性を話し合い、適時ケース会議も行っている。	毎朝のミーティングやケース会議等職員全員で児童情報の共有や支援方法について話し合いを行っていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	担当者会議を開催し、支援目標や内容について共通理解したうえで日々の支援を行っている。	支援目標や内容について共通理解しながら、引き続き支援を行っていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	朝礼時の振り返りの時間に応用行動分析（ABA）を用いて、児童の行動について確認を行っている。	応用行動分析（ABA）を用いた行動の確認を継続して行っていく。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	ガイドラインの趣旨に則って、具体的な支援内容を設定している。	引き続き、ガイドラインの趣旨に則り具体的な支援内容を設定していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	活動担当が計画を立案し、立案された計画をもとに職員全体で確認、変更等を行っている。	職員全体で意見交換しながらバランスを見て活動プログラムを設定していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	その日の人数、利用児童等考慮し、実態に合った活動の提供となるようにしている。また、日々の活動は固定化せず、活動の幅が広がるよう計画を立てている。	児童が楽しみを持ちながら活動に参加し、様々な活動を通して支援していけるように工夫していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	活動から自由時間を通して、集団、小集団、個別と状況に応じた支援を行っている。	支援目標に沿って、集団活動や個別活動等場面にに応じて支援を行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	毎朝のミーティング時にその日の活動等確認を行っている。	フォローで入る職員にも児童情報や支援内容について共有・確認を行い統一した支援を行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	翌朝のミーティングにて、前日の活動や児童の様子の共有、振り返りを行っている。	毎朝のミーティングや都度気付いた点について共有を図っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	毎日HUGにて個別に支援記録をとり、その日の様子等記載している。	記録を一定期間ごとに振り返ることで、支援の検証・改善に繋げていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	半年に1回のモニタリングを行い、目標の達成率、現在の状況の共有、計画の見直しを行っている。	ご家庭や事業所の様子を共有し、目標に対する現在の状況について保護者様と確認を行いながら適切な見直しを行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	ガイドラインに則って、課外活動や他事業所との交流、自立活動等実施している。	引き続き、ガイドラインに則りながら支援を行っていく。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	自由時間や活動を通して、職員が適時仲介をしながら、児童同士の関わりの中で自己選択や自己決定ができるよう支援をしている。	自己決定をして取り組む活動・イベントの機会を増やし自己決定する力を育てていく。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	管理者、担当職員が担当者会議などに参加し、児童の情報共有を行っている。	引き続き、管理者・担当職員が会議に参加し、職員全員に共有を図っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	保育所等訪問を通して学校と連携を図っている。	引き続き、関係機関との連携を行うよう努めていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	情報共有用紙を使用して、共有を行ったり、都度共有が必要だと感じる事案が発生した際に連絡を行う。	学校のお迎え時やお電話にて情報共有や連絡調整を行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	自社の児童発達との連携が行っている。	その他に関しては情報共有が行えていない現状があるため共有を行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	該当なし	今後移行をする児童がいた際には、スムーズな移行が出来るよう情報共有を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	現在が自社や関係機関との研修が主となり、支援センターとの連携が少ない状況である。	今後連携を図れるよう努めていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	児童クラブへのお迎え時に連携を図ることは出来ているが、活動中での交流の場が持っていない状況である。	今後、地域との交流ができる機会を作っていく。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現状は協議会等への参加は出来ていない状況である。	参加が出来るように努めていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	モニタリングや、日々の送迎時に現状の課題やご家庭での様子などを伺い、共通理解を図ることが出来ている。	引き続き、状況や課題について共通理解出来るように保護者様と情報共有を行っていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保護者会や、送迎時、家族参加の行事に参加していただく中で、支援方法、接し方に対する情報共有を行なっている。	ご家族が参加出来る機会(保護者会やイベント等)、情報提供出来る場を増やしていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	契約時、モニタリング等を通して説明を行い、活動経費に関しては事前に説明を行っている。	引き続き、必要な場面での説明を徹底して行っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保護者や児童との交流の中で様々な事に対する意思確認を行い、意向を汲み取った上でサービス提供の作成を行っている。	契約時、面談、日々の支援や保護者対応時等に保護者の意向や児童の気持ちを尊重しながらすり合わせを行っていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	モニタリングの際に放課後等デイサービスを示しながら具体的に説明を行い、納得して頂いた上で署名を頂いている。	支援内容について具体的かつ丁寧に説明を行っていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	送迎時、モニタリング等で困り事に対してのお話を伺い、保護者からの相談があった際には、対面、お電話、メール等で都度お話を傾聴、助言等が出来るよう努めている。	保護者迎え時や面談、連絡ツールを使用して気軽にご相談いただきながら助言や必要な支援を行っていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催することにより、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	複数人が集まる保護者会を行ったり、夏祭り、運動会等保護者参加のイベントを行う中で交流を図っている。	保護者会や保護者参加型のイベントを企画し、保護者同士で交流出来る機会を増やしていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日々の情報共有、保護者会等を通して情報の集約発信を行っている。	ご連絡を受けた際には、解決案・代替案について考え、迅速かつ丁寧に対応出来るように努めていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	SNSの活用を行い、日々の活動の様子や行事等の周知を行えるよう体制の整備を行っている。	活動予定表や日々の活動の様子をSNSで写真を用いて分かりやすく工夫しながら配信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	SNSの活用に伴う個人情報の管理に関して毎日の会議にて、個人情報の扱える範囲の周知共有を行い、業務を行っている。	SNSを含めた個人情報の取り扱いや書類の保管に関して十分に留意します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	特性や、障害に合わせたコミュニケーション方法の選択、情報の共有が行えるようにしている。	児童の様子についてお迎えの際や連絡ツールを使って共有を図る。児童に合わせて分かりやすい言葉や視覚情報を用いて意思疎通を行う。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	町内会への参加等地域に即した事業運営を行えるよう工夫をしている。	地域の方と交流を図れる機会を増やしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ご家族にはホームページを通してマニュアル等を周知している。	様々な発生を想定した訓練を定期的実施していく。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	非常時に備えた訓練を定期的実施している。	引き続き、訓練を実施していく中で防災意識の向上に繋げていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	情報共有ツールにて共有を行っている。	実際にてんかん発作など起きた場合の対処方法などを職員研修で行なっていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アレルギー情報の把握、共有を行い、飲食が発生する際は周知、徹底を行う。	お弁当やおやつの提供時にはアレルギー情報の確認を職員2名以上で行うなど細心の注意を払う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	定期的な安全確認を業務の一環として行うようにしている。	定期的な安全確認を実施し、安心安全な場所を提供しながら支援が行えるよう環境調整や安全管理を行っていく。

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	保護者会、日々の情報共有を通して周知している。	保護者会や送迎時、連絡ツールを用いて家族との連携を引き続き行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	報告書等の情報共有ツールを用いて、原因の分析や対策、再発防止に向けての意見交換を行えるようにしている。	引き続き情報共有ツールを用いて原因の分析や対策を行い、対策防止に努めていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	研修機会の確保、共有が行えるようにしている。	事例を基に、職員間で話す機会を増やしていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	研修等を通して、組織的に決定、周知を行っている。	現状対象児童がいないため、必要時に備えた準備や知識共有を定期的に行っていく。